

## 第2回 学校評価アンケート（12月実施）結果より

アンケートの結果から以下のようなことが明らかになりました（数字は肯定的な意見の割合です）。

※保護者の回答件数が、116件（第1回実施）から294件（第2回実施）に増えました。

① 自分に合った勉強法の工夫をしている。

保護者 43.1%→60.2% 生徒 61.5%→75.2%

→ 前回評価の低かった、「自分の勉強法を確立できていると感じている」という質問には、「そう思う」「おおむねそう思う」と回答する保護者の数が増えましたが、まだ8割を下回っています。授業で学習した内容を家庭での学習習慣につなげていけるよう、単元ごとの学習カードや定期考査時の学習計画表の活用や質問教室等の実施を通して、個に応じた指導や支援を一層充実させていきます。

② 学校はいじめがなく、安心して楽しく過ごすことができている。

保護者 87.1%→69.7% 生徒 89%→89.6%

→ 「そう思う」「おおむねそう思う」と回答する保護者の数が減り、「あまりそう思わない」という否定的な意見が増えました。深い生徒理解に基づく生徒指導を推進し、いじめ撲滅と予防に向け、毎月アンケートを行い、情報収集と早期の対応を図っていきます。「西東京あったか先生」の取り組みを推進し、人権について考える機会を設けていきます。

③ ボランティア活動や地域の活動に対して、興味があり、参加しようとしている。

保護者 35.4%→64% 生徒 46.6%→53.3%

→ 「そう思う」「おおむねそう思う」と答える生徒や保護者の数が増えましたが、全ての設問において、最も肯定的な回答が少なかった質問です。今年度より、地域からのボランティア活動の依頼が再開し、生徒がボランティア活動や地域の活動に参加できる機会は増加しました。校内でのボランティア的な活動の取り組みを充実させ、さらに社会と関わる姿勢や社会に貢献する意欲や態度を育成していきます。また、お昼の放送などを通じてボランティア活動の報告を行い、参加する生徒を増やしていくような啓発活動を継続していきます。